

## 第3学年 国語科学習指導案

1 単元名 大事なことをたしかめよう (光村3年下)

2 教材名 「すがたをかえる大豆」  
「食べ物がかせになろう」

3 単元について

(1) 教材や指導価値について

本単元は、「読むこと」と「書くこと」の2領域を関連付けた学習ができる複合単元の構成になっている。読むことの教材「すがたをかえる大豆」で読み取ったことを生かし、書くことの教材「食べ物がかせになろう」で調べたり、文章を書いたりする学習活動につなげていくことをねらいとしている。

第1教材「すがたをかえる大豆」は身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、児童にとっても身近な内容である。しかし、大豆の加工食品は見ただけでは大豆でできているとは思われないものが多く、児童に意外性をもって知る喜びを与えることができる内容といえる。教材文は段落構成・中心文・キーワードが明確であり、3年生の児童に説明文の構成や段落のまとまりをとらえさせ内容を正確に読み取る力をつけさせるうえで有効な教材である。第2教材「食べ物がかせになろう」は、読みの学習を通して身につけた力をもとに、疑問や興味をもった事柄について本で調べ、教材文をよい参考例として、集めた情報を文章にまとめる学習活動を設定しており、この時期の児童にとって抵抗なく説明文に取り組める教材であるといえる。

本単元は、情報活用単元として本の活用や情報の整理の仕方などの学習内容も含まれている。テーマを決める・本で調べる・メモする・文章にまとめる等、各段階で個々への指導を行いながら進めることで、情報活用の基礎となる力を身につけさせることができると考える。

(2) 児童の実態

児童は、「読むこと」の学習として、「ありの行列」では、説明文の基本構成「初め(問い)ー中ー終わり(答え)」や段落について学んできている。キーワードや中心文を見つけるなど、大事な言葉に目を向けながらそれぞれの段落に書いてあることをまとめる活動を行ってきた。教師とともに全体指導の中でまとめることはできるようになってきたが、児童が自力で大事な言葉に着目しながら読み取り、まとめるまでには至っていない。

また、「書くこと」の学習として、「おもしろいもの、見つけた」の学習では、知らせたいことを整理して書くことを学んできている。紹介したいものに写真を添えた文章にすることで楽しく書くことができたが、書くことの技能や量などは個人差が大きく、段落の役割を意識して書ける児童は少ない。

(3) 指導の構想

指導にあたっては、これまでに学習してきたことを生かしながら、自分でも食べ物がかせとして、食べ物に関する文章をまとめるのだという目的を明確にし、主体的に読ませるようにしていきたい。そのために、段落ごとに大事なことをカードにまとめさせたり、全文を3つのまとまりに分けたりする学習を取り入れ、第三次の各自が選択した食べ物について3つのまとまりで文章にまとめる学習活動に役立つように進めていきたい。また、文章を正確に読み取るために、食品の写真や絵・実物を使って理解させたり、接続語や重要語句に気をつけて読み進めさせたりしたい。

書く段階では、教科書の「食べ物がかせになろう」や「本で調べる」をもとに、調べ学習の順序や本での調べ方を確認させながら、集めた情報の整理の仕方もきちんと習得させたい。その上で教科書の例文のように、伝えたいことが明確な文章を書かせたい。

#### 4 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	・身近な食べ物について知識を得るとともに、興味を広げる。	・食べ物はかせになるために、食べ物に興味を持ち、教材や読み物・図鑑などを進んで読んだり、調べたことを文章にまとめたりしようとしている。
読む能力	・中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読むことができる。(イ)	・大きく内容をまとめたり、必要なことは細かい点に注意したり、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えたりしながら、大豆をおいしく食べる工夫を読み取っている。
書く能力	・本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて説明文を書くことができる。(エ)	・身近な食べ物について、情報を収集したものを取捨選択し、書こうとすることの中心を明確にしながら、段落の続き方に注意して書いている。
言語についての知識・理解・技能	・文章構成や接続語、指示語について理解することができる。(オ)	・接続語や指示語に気をつけて読み取ったり、初め・中・終わりの文章構成で書いたりしている。

#### 5 単元指導計画（17時間）

- (1) 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。……………(2)
- ・「すがたをかえる大豆」「食べ物がかせになろう」の全文を読み、感想をもつ。… 1
  - ・「すがたをかえる大豆」の読み取りの学習計画を立てる。…………… 1
- (2) 「すがたをかえる大豆」を課題にそって読み取る。…………… (5)
- ・大豆がどんな植物か読み取る。…………… 1
  - ・大豆をおいしく食べるための工夫について読み取る。…………… 1 (1校時)
  - ・大豆の加工の違いを整理して読み取る。…………… 1
  - ・大豆の食べ方が多く考えられた理由を読み取る。…………… 1
  - ・「すがたをかえる大豆」の説明文の文章構成について理解する。…………… 1
- (3) 食べ物はかせになるために、情報を収集・選択して説明文を書く。……………(10)
- ・「食べ物がかせになろう」の全文を読み、学習計画を立てる。…………… 1
  - ・調べることを決めて、情報を収集する。…………… 3
  - ・情報カードを整理し、構成を考え、文章を書く。…………… 4 (2校時 2/4)
  - ・文章をまとめ、互いに評価し合う。…………… 2

6 本時の指導について

(1) 本時の目標

大豆をおいしく食べるための工夫を読み取ることができる。

(2) 本時の評価規準

大豆をおいしく食べるためのいろいろな工夫を段落ごとに、ノートにまとめている。

(3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">大豆をおいしく食べるためのくふうを5つ読み取ろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆の特性を想起させる。(硬い、そのままでは食べにくい、消化もよくない。)</li> </ul>	○ 学習課題をとらえている。(観察)
展開 (37分)	3 どの段落から読み取るかを確認し、音読する。 4 3段落の工夫と、その工夫によってすがたを変えた食品をおさえ、まとめ方を理解する。 5 4～7段落について、自力でおいしく食べる工夫と、その工夫によってすがたを変えた食品をおさえ、ノートにまとめる。 6 全体で、4～7段落の工夫と、それによってすがたを変えた食品について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3～7段落を読み取っていくことを確認させる。</li> <li>どんな工夫によって、なんという食品にすがたを変えたのかを意識させながら音読させる。</li> <li>キーワードを手がかりに、工夫について書いているところにサイドラインを引かせ、すがたを変えた食品は丸で囲ませる。</li> <li>サイドラインを引いた部分から、大事な言葉を抜き出して簡単な文にすることを理解させる。</li> <li>ノートの上段に「おいしく食べる工夫」を書き、下段にすがたを変えた食品のカードを貼ることをきちんと理解させる。</li> <li>必ず、3段落の手順を繰り返してからノートに整理させる。</li> <li>サイドラインを引いた部分を簡単にまとめられない児童には、そのまま書き写させる。</li> <li>発表の際、人が手を加えるときの大事な言葉を、なるべく具体的に理解させる。</li> <li>大豆が硬く、食べにくいことから生じる食べ方であることを思い出させ、工夫のすばらしさに気づかせる。</li> </ul>	<p>具体的評価規準</p> <p>○ (A) おいしく食べるための工夫を4つ見つけてサイドラインを引き、簡単な文にして表にまとめている。</p> <p>(B) おいしく食べるための工夫を4つ見つけてサイドラインを引き表にまとめている。</p> <p>(Cへの支援) 各段落に出てくる食品カードを先に貼らせてから、工夫という言葉を手がかりにサイドラインを引かせる。</p>
終末 (3分)	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カードに記入させ、自己評価をさせる。</li> <li>次時は、おいしく食べる工夫をもっとくわしく読み取っていくことを知らせる。</li> </ul>	○ 観点に基づいて自己評価をしている。

小学校3年(書くこと)2校時

学 級 3年1組 男子16名 女子15名 計31名  
指導者 城戸 直行

7 本時の指導について

- (1) 本時の目標  
情報カードをもとに、第1段落・第2段落を文章にまとめることができる。
- (2) 本時の評価規準  
情報カードをもとに、段落のつながりを意識しながら相手に分かりやすく「食べ物はかせレポート」を書いている。
- (3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">情報カードをもとに、第1段落と第2段落を読み手に分かりやすく書こう。</div>	・ 情報カードの内容を想起させる。	学習課題をとらえている。 (観察)
展開 (35分)	3 「食べ物はかせレポート」の書き方を確かめる。 4 「食べ物はかせレポート」を書く。 5 「食べ物はかせレポート」を読み合い、よさを学び合う。	・ 文章構成表を掲示しておくことで「初め」「中」「終わり」の文章構成で書かれていることを想起させる。 ・ 文章構成や書き出しなど教科書の例文を参考にして書かせる。 ・ 第1段落は、教師と一緒に書かせる。 ・ 第2段落は、情報カードのまとめりごとに文章を書かせる。 ・ 辞書を用意させておく。 ・ 早く書き終わった児童は、チェックカードを活用し、見直すようにさせる。 ・ 文章を読み合い、観点に沿っているか確認させる。	具体的評価規準 (A) 構成や段落相互の関係を考え、接続語やキーワードを使い、分かりやすく書いている。 (B) 構成や段落相互の関係を考え、接続語やキーワードを使って書いている。 (C) 情報カードをそのまま書き写している児童には、キーワードに着目させながら、短い文にして書くようにさせる。
終末 (5分)	6 本時の学習を振り返る。 7 次時の学習内容を確認する。	・ 学習カードに自己評価を記入させる。 ・ 第3段落を書くことを知らせる。	観点に基づき自己評価している。(カード)